

埼玉連だより

令和6年11月30日

第
74号

★発行事務局 〒359-0026 所沢市牛沼 250-19 (本橋民夫方) TEL・04-2995-3839

埼玉県弓道連盟総務委員会

財政問題等小委員会について

会長 本橋 民夫

今回は、埼玉県弓道連盟の財政面での課題等についてご報告いたします。

今から15年ほど前は、収支決算に余裕があり、次年度繰越金として適切な金額を確保した上で、残りの分を事業強化資金として積み立てていました。その事業強化資金で、秩父市営第一弓道場に控室等を建設するよう進めていました（現在は自治体が一般からの寄付を受け付けることはなくなっており、秩父市営第一弓道場に控室等を建設する見通しはたっていません）。一方、会員の皆様への還元の一環として、長寿者への記念品贈呈及び年会費の減額、優秀選手に対する賞金・賞品の授与等を行いました。

ところが、近年状況が大きく変わり、新型コロナ発生に伴う感染防止対策費、全弓連分担金の増額、消費税の納付、一般社団法人化に伴う諸費用の発生等支出案件が県連の収支決算に大きく影響し、赤字体質となってまいりました。そこで、積立金を取り崩して対応をしましたが、抜本的な対策にはならず、数年後には積立金も底をついてしまうという状況になります。その対策を検討するために、埼玉県弓道連盟として実施している各種事業の内容及び必要性の見直し、それに伴う財政面の見直しを行うことにしました。このことを目的として「財政問題等対策検討会議」を立ち上げて、毎月1回 Zoom により対策会議を行っております。今回は、そこでの検討事項等について紹介いたします。

平成24年度と令和5年度の収支決算の大きな比較をしますと次のようになります。

《平成24年度》 《令和5年度》

【収入の部】

一般収入	24,141,000 円	28,524,890 円
会費	7,451,000 円	10,465,500 円
入会金	1,893,000 円	2,061,000 円
審査料	13,559,000 円	15,242,810 円
講習会	1,238,000 円	755,580 円
繰越金	10,009,157 円	13,554,196 円
取り崩し	0 円	7,012,494 円
「収入合計」	34,375,077 円	54,435,148 円

【支出の部】

全弓連負担金	355,000 円	6,946,000 円
助成金	1,180,000 円	1,330,000 円
事業費	11,898,625 円	22,877,289 円
表彰費	487,400 円	642,310 円
支部交付金	3,500,000 円	3,850,000 円
登記費用等	0 円	304,514 円
納税費用等	0 円	429,000 円
租税公課	0 円	64,100 円
次年度繰越	12,180,226 円	13,191,447 円
「支出合計」	34,375,077 円	54,435,148 円

小委員会での主要な論点は、次の通りです。

【収入に関して】

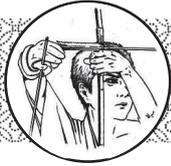
- ① 納入区分を含めた入会金、会費の見直し
- ② 長寿賞受賞者の全弓連分担金に応じた会費の減免措置について
- ③ 競技会参加者の参加費徴収について

【支出に関して】

- ① 県連講習会の回数の削減について
- ② 審査委員の謝礼の削減について
- ③ 高体連への助成金の考え方について
- ④ 優秀選手表彰・激励費付与見直しについて
- ⑤ 長寿賞表彰の在り方について
- ⑥ 『弓道』誌広告費の削減について
- ⑦ 慶弔関連対応の見直しについて
- ⑧ 「埼玉連だより」発行部数の削減について

基本的な考え方としては、支出を抑えて会員の皆様へ負担を最小限にしたいと考えております。当委員会でも検討した財政面での立て直し対策（案）をたたき台にして理事会で検討し、皆様にお知らせする予定です。

また、上記の取り組みを行った結果をもとに、改めて会員の会費等についての検討を行いたいと考えています。皆様、ご理解ご協力の程宜しくお願い致します。



専門委員会だより

総務委員会

IT 事務所開設 20 年を経て

委員長 竹内せき子

北浦和合同庁舎に、IT 事務所を構えてから今年 7 月で 20 年が経ちました。今まで多くの方々からご協力、ご尽力をいただきながら今に至っております。改めて心より御礼申し上げます。

さて、来春より（一社）埼玉県弓道連盟の拠点（現在は所沢）が、この IT 事務所に移る予定であります。それには 9 時からお昼休みを除き 16 時まで常駐する必要がありますが、事務所委員は全員ボランティアですので無理な強制は出来ません。その点どうぞご理解ください。



（審査委員会と事務所委員との合同作業の様子）

この時、名前の文字や年齢に間違いがないかをチェックし、受審者名簿 5 部と立順表 1 部を作成、印刷し運営委員長に渡されます。

●「埼弓連だより」発行部数の削減について

令和 6 年度第一回総務委員会で財政問題について触れた際、発行部数を多少減らしたところで金額的にさほど変わりはないが、道場に残っている埼弓連だよりの処分に困っている。更に、支部長が各道場に配分、梱包、配送にかかる労力も否めないことから、発行部数の削減に着手することに至りました。

その代替りとして、ホームページの帯に「埼弓連だより」を入れてアクセスし易く、スマートフォンでもサクサク見られるよう軽くしました。財政面だけに関わらず、今後の方向として内容やサイズにも新たに検討していく方針です。

IT 事務所の仕事のなかで

IT 事務所 主任 蓮見 文子

重要な仕事に会員登録があります。

年間で、一般：約 300 件 大学生：約 100 件
高校生：約 1,000 件の新規登録を行います。

（令和 5 年度）

●姓名の漢字登録について

お名前の読み方はむづかしいですね。

例えば、次のようなお名前です。

- ①志遠 ②暖乃 ③想美 ④心人 ⑤咲雅梨
- ⑥一晟 ⑦狼 ⑧星 ⑨刻 ⑩天育葉

答えは最後に！

女性の「子」がほとんどなくなりました。

いずれも素敵なお名前ですが入力に難儀しております。

●「外字」について

PC 入力に使用できる文字が決まっているため、規格にない文字については「外字」の登録をします。表記上は近い文字の登録となります。

大会・講習会の名簿には正式な名前が印刷されませんが、審査の認許状には外字ソフトを使用し、正式な文字を審査担当者が個別に印刷して発送していますので、ご安心ください。

例えば

吉 上側が「土」は外字

今 下側が「ラ」ではなく「テ」は外字

辻 しんによろの点の一つは外字

邦 左側の上に「ノ」で突き出ないのは外字

角 下側が「用」は外字

尻 内側が「丸」は外字

海 中が「母」は外字

廣 中が「黄」は外字

なるべく近い文字またはひらがなで、全弓連会員管理システムに会員登録をしております。

答：①しおん②のんの③ここみ④まなど

- ⑤えあり⑥いなせ⑦あたる⑧しょう⑨とき
- ⑩あすは

●記念誌が欲しい方、予備があります

五十周年記念誌 23 部、七十周年記念誌 38 部
IT 事務所までメールにてお問合せください。

指導委員会

受講者推移

副委員長 北原きい子

昨年5月にコロナ感染症も5類に引き下げられましたので、本年度は人数制限を40名ほどに緩和して実施してまいりました。受講される皆様には控えでのマスク着用、また複数会場の申し込みをいただき受講会場の分散にご協力をいただきましてありがとうございました。おかげさまで年度初めの予定通りに講習会は進められております。

コロナ前からコロナを経て現在の講習会状況は、開催回数では、令和元年まで講習会は18回程（第1回から第3回・伝達講習会・指導者講習会）でした。コロナ禍の中では対象者の多い五段の回数を増やし23回開催しました。

また、会場の県立武道館の大改修にともなう休館や大宮公園の駐車場有料化など受講には条件が変化してまいりました。

受講希望者数は回復しつつも、例年第3回講習会の申し込み数は定数に満たない状態です。

種別	令和5年度	令和6年度
錬士六段以上	9	16
錬士五段	13	16
五段	15	24
五段	15	20
五段	15	20
合計	67	96

ご存じのとおり埼玉県弓道連盟は一般社団法人となりました。今年度の課題として【埼弓連だより73号】の冒頭にありますよう財政面の見直しは指導委員会にも必要となりました。

来年度の第3回講習会はやむなく廃止する予定です。諸事情をおくみ取りいただきご理解とご協力をお願いいたします。

参考までに6年度初めの会員構成です

参段以下	四段	五段	錬五	錬六	教士以上
1895	485	456	159	155	135

支部からの要請があれば指導委員会より講師を派遣いたします。

競技委員会

一般会員に伝えたいこと

副委員長 宮澤 梢枝

日頃より県競技会にご理解、ご協力を頂きまして有難うございます。お陰様で令和6年度も順調に進んでおります。会員、そして、縁の下の力持ちで大会を支えて頂いている競技役員の皆様のお陰です。心より感謝申し上げます。

令和6年度の大会を振り返りますと、異常気象の猛暑です。熱中症対策強化、コロナ対策、安全対策と、万全の準備で運営しております。8月の勤労者大会は歩みの遅い台風のため残念ながら前日に中止となりました。

今後の大会ですが、県立武道館が令和6年9月から令和7年7月末まで改修工事で閉鎖になります。県民スポーツ大会は熊谷市弓道場での開催、武道大会と令和7年初射会は日高アリーナをお借りしての開催となります。案内をご確認頂き、大勢の皆様のご参加をお願い致します。

まだ、コロナは終息してませんが、少しずつ通常の射会の落ち着きを取り戻しつつあります。しかしながら、参加人数が多くなり、いかにスムーズに一日を運営できるかを考え、時には当日の射会変更も考えたり、頭を悩ませています。

競技委員も大会当日までにメールを使い、大会をスムーズに進めるため、打ち合わせを行っています。大会当日も開会前に皆で疑問点を確認しながら質問しながら望んでいます。少しでも選手の皆さんに落ち着いて引いて頂けるよう準備をしています。選手の皆さんも集合時間、早めの控え、さらに、ご自身の弓矢の管理をしっかりお願い致します。

一日の射会の時間は決められています。特に競射の時は呼ばれる前に控えに早めに居て頂くことと時間短縮、大会運営がスムーズです。呼ばれてからの控えではなくご協力をお願い致します。そして、控えでの私語は慎んで頂き、静かにご覧下さい。今後の大会では、参加される会員の皆様にも以前のように支部担当の役割をお手伝い願います。新しい方も増えてきていますが解らないことが有りましたら、ご自身の道場で先輩方にお聞きして、更に当日は競技委員の指示の下、積極的に係を担って下さい。

皆さんと一緒に大会を支えて頂ければ助かります。

国スポ選手強化委員会

関東ブロック大会結果

委員長 古泉 利昭

締め切りが迫って今埼玉連だよりの原稿を書いています。今日は大会第一日目で、先ほど大会に参加している少年女子監督の先生から近隣の競技の予選を第1位で通過したとの嬉しいメールがありました。今回佐賀に行くことができた唯一のチームですが、頑張ってくれているようで、明日の遠的予選も大いに期待できそうです。

さて、話は変わって8月18日(日)に山梨で行われた関東ブロック大会ですが、
○ 成年女子 遠的7位・近的2位・総合5位
○ 成年男子 遠的7位・近的7位・総合7位
○ 少年女子 遠的2位・近的3位・総合2位
○ 少年男子 遠的7位・近的6位・総合7位
の結果でした。そして、少年女子のみが本大会に進めることになりました。

今回、成年は男女とも本大会に進むことができませんでした。スタートダッシュを掛けるべき遠的1立ち目の成績が男女ともよくなかった。女子の場合、今回の立ちは第2射場でしたが、前射場に立っていた東京チームの中りがあまりに良すぎて吞まれてしまったのではないかと。最初の6射で東京チームは10点1本、9点4本、3点1本の6中、計52点。前射場のすごい中りを見せられて気にならないはずはなかったかと思えます。結果遠的は7位でした。午後からの近的は気を取り直して2位になったのですが、残念ながら予選通過はできませんでした。また、男子も遠的1回目で12射11中したのですが、9、10点が1本もなく計57点。練習中もあまり出ない数字です。それが近的にも尾を引いてしまったかと思えます。

勝負は負けた時の悔しさから学ぶことが大きい。選手、強化委員とも反省し、それを来年の関東プロ突破の糧にして頑張りたいと思えますのでどうかよろしくお願いいたします。

最後に委員長として今回選手の実力を十分引き出すことが出来なかったことをお詫びいたします。

審査委員会

新たな取組と実施状況

委員長 齋藤 安次

平素から審査会業務にご協力いただき、道場・支部の審査受付担当者には多大なご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、審査会運営においても各支部の協力がなければ審査会を開催することはできません。一方で会員の皆様が日々精進して受審者が増えていることは審査会を預かるものとして大変嬉しく思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

さて、弓道とは直接関係ありませんが「情報共有」「デジタル化」「国際化」について次世代に向けた進化が加速しています。私たちは現代社会の中で個人差はありますが必要なものから対応し変化を受け入れていると思います。

私が退職したのが2012年で、翌年の春に確定申告のため税務署を訪れた時、長蛇の列に並んだことを思い出しました。その時2、3時間かかりますよ！と言われ、家に帰ってe-Tax(2005年開始)にチャレンジしてPC内で完結しました。2016年にマイナンバーカードができましたが、デジタル庁ができてから格段に使い易いシステムになってきました。今では確定申告もスマホで30分程度の操作で還付金が得られるようになりました。但しマイナンバーカードに健保・年金・保険等を紐付けることが必要でした。古いフレーズで「ゆりかごから墓場まで」という言葉がありましたが、正に個人に特化したデータベースができて上がる日も近いのではないのでしょうか。

● 弓道連盟における事務の合理化について

近年、書類の電子化であったり、会計の入出金はキャッシュレスの時代になってきました。

これらの書類をいつでもどこでも閲覧ができて、金融機関に行かなくても入出金ができることは業務の効率化につながると思えます。一方で個人情報を含む機密性の高いデータをどのように保護するかをセットで考えなければなりません。今後は弓道連盟としての情報伝達や会計処理システムの構築をする必要があると思えます。

埼玉連の決算書でもお分かりのように、一般収入が2,800万円でその内1,500万円が審査関係

収入になっています。審査委員会が関係している会計処理はそれ以外にも県外審査会に申込んだ者や合格した者から指定額を徴収し、全弓連等に送金しているものを併せると2,000万円を超えています。

埼玉連も一般社団法人になってから税理士・会計士から指導を受けながら帳票類も統一性を求められ、法人格の預金口座を使用して管理するように指導されています。今までは地方・連合・学生・中央審査担当で業務内容が違うところもあり、会計の流れも含めて見直す時期に来ていると考えています。

昨年度から審査委員会内に会計専門担当を配置し、高校審査関係の会計処理を見直し施行して参りました。1回の審査会で1,300人を超える申し込みがあると帳票と振込額の確認を手作業で実施することには無理があります。今後の課題としては自動で確認できるようなシステムを作ることも大切な仕事になります。

今年度後期から一般地方審査も対象にして始めました。高校の金銭の流れと違いますが、取あえずはそのまま移行する形を取りました。

来年度には連合・中央審査関係も金銭の流れを変えずに会計専門担当に一元化できるよう努力しているところです。

将来に向けた審査会運営システムについても検討する環境が整えば、会場での受付状況を全ての役員がリアルタイムに共有できるようにすることで人の動きが少なくなります。また、看的情報のチェックや審査委員の手にスイッチがあり合否の判定がリアルタイムで掲示板に表示されるようになれば、事務処理の合理化だけでなく受審者に対して開かれた審査会になっていくと思います。夢を語ると切りがないのでこのあたりで終わりますが、弓道を楽しむ仲間の中にソフト開発の専門知識をお持ちの方がおりましたら是非お話をさせてください。

● 令和6年度上半期に実施しました

審査種別毎の受審者数と合格者数を表にまとめましたので参考にして下さい。

総受審者数は3,275名で前年度上半期の5%増でした。総合格者数は1,733名で7.6%増になりました。参段・五段・六段においては前年度に比べて受審者・合格者数共に低い数値になっています。

級位については受審者ゼロで、合格者がいるのは初段受審者が級位査定になった者です。

● Q&A(第72号からの続き)

Q6: レポートは、鉛筆書きでない駄目でしょうか。ボールペン書きは不可でしょうか。

A6: コロナ禍前は会場で問題発表し1時間で答案を作成し評価していました。この時は途中で修正が入る(書き損じ・構成変更)ので鉛筆と消しゴムがセットでした。

今は事前にレポート作成するので下書きを鉛筆で書く人、又はパソコン入力する人様々ですが、清書は直筆で書くことになっていませんのでボールペンで書いたものも認めています。但し、修正液が多用されて見難いものは書き直しをお願いしています。

しかし、パソコンからプリントしたものは直筆で出し直してもらっています。インターネットで検索しコピー&ペーストだけでは勉強にならないと考えます。手書きすることで理解は深まると思います。

※ 日頃ご質問の多い順に掲載していますので、質問がある方は支部経由で審査委員会にお寄せください

令和6年度上半期: 段位別の受審者数と合格者数												
	審査種別											
	級位	初段	弐段	参段	四段	五段	六段	七段	八段	錬士	教士	合計
受審者数	0	1261	521	255	363	312	158	56	13	275	61	3275
対前年度増減	0	122	82	△24	27	△44	△16	2	8	1	7	165
合格者数	121	1113	382	59	32	10	2	2	0	10	2	1733
対前年度増減	15	107	35	△5	1	△17	△10	1	0	3	2	132
合格率(%)	—	88.3	73.3	23.1	8.8	3.2	1.3	3.6	0.0	3.6	3.3	52.9

女子部

「女子部」に思うこと

副部長 脇本 緑

この夏、埼玉県立高校が熱かった！と申しましても気温のお話ではありません。埼玉県立高校の共学化のお話です。埼玉県男女共同参画苦情処理委員会から県教育委員会に、共学化の早期実現の勧告が出されて1年経過したからです。

そういえば遠い昔高校受験の時、生まれも育ちも埼玉県の私は最初の進学面談で担任の先生に男子校の進学希望を伝えましたが、「あそこは男子校だぞ」の一言で終わりました。自分の学力と通学の利便性、そして校内の施設の充実度から希望してみたのです。自分でも女子の私がいけるはずがないよなどはわかっておりましたが言ってみたかったのです。しかし今回、ことの発端は県民から昨年4月に「県立の男子校に女子を入学させるべき」という申し出だったとか…。時代の流れを感じます。そして改めて女子校は〇〇女子高等学校という「女子」が付いた名称なのだと確認した次第です。

この熱いお話は動向を見守るとして、我が「女子部」はどうだろうかと思いを馳せました。今後『「女子部」の在り方』などという重いテーマで白熱した議論を繰り広げる時は来るのでしょうか。

さて、今年度も女子大会を開催いたします。女子だけの立は、競技であれ昇段昇格のお披露目であれ、同じ所作で統一感があり調和がとれ美しいと感じております。

雰囲気は和気あいあいとしており、競技の間にはあちらこちらで話の花が咲いております。しかしいざ競技となるとシビアに、正に手に汗を握る緊張感あふれるものとなります。

大会の運営そのものは女子部の役員だけでは到底手が足らず、昨年度も役員以外の女子の皆様が支えてくださり成立した経緯がございます。今年度も奮ってご参加ください。女子部長をはじめとする役員一同お待ちしております。よろしく願いいたします。

なお、「男子」の参加は想定外ですので対応不可です。重ねてどうぞよろしくお願いいたします。

高体連

令和6年前半を振り返って

委員長 坂本 修

日頃より弓道連盟の皆様には、高体連弓道専門部の活動にご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度も行事の半分が終わりました。前半戦についても本県の選手が大活躍してくれました。国スポ関東ブロック大会においては、少年女子が2位で通過しました。男子については、残念ながら敗退となってしまいましたが、最後まであきらめず戦い抜きました。

8月に行われましたインターハイにおいて、東京農業大学第三高校が男子団体で3位に入賞、川越南高校の長島選手が4位に入賞しました。8月25日～26日に高校顧問研修会が開催され、27名の高校弓道部顧問が参加しました。当日講師を務めていただきました本橋民夫先生、鹿野信恵先生、北原きい子先生に対しまして、この場を借りまして、厚くお礼を申し上げます。

<大会結果>

●関東大会県予選

4月21日(土)22日(日) 県立武道館

女子73チーム375名

男子66チーム349名

○女子団体／①草加西(由良優泉菜、時崎愛、中島璃乃、相方紫苑、葛西萌心、浅古陽、今村美月)②狭山ヶ丘(森上栞吏、本多未英、中西美由希、竹内秋帆、佐藤結、高橋杏、原島愛美)③川越南(長島未侑、田中美羽、山内梨瑚、伊藤暖乃、京極万穂、藤埜志帆子、春凜香)

○男子団体／①東農大三(大垣正仁、斎藤健太、田口宜知、鈴木櫻、其上達也、島田陸、赤瀬崇太)②正智深谷(濱野好太朗、鴻野颯音、金子四季、山本竜矢、窪田有希、今井琉惺、香川慶仁)③春日部(大竹准平、安齋陽向、石川友皓、福井悠人、大室英大、武藤史恩、斎藤土心)

○女子個人／①小林莉子(桶川)②長島未侑(川越南)③河内來花(坂戸西)④由良優泉菜(草加西)⑤新井海結(東農大三)⑥二瓶愛菜(川口市立)⑦森上栞吏(狭山ヶ丘)⑧小島葉菜(浦和西)

○男子個人／①鈴木悠斗(浦和東)②北野光太郎(市立浦和)③田邊瑞樹(草加東)④安齋陽向(春日部)⑤市川潤(大宮)⑥作山大悟(杉戸農)⑦川瀬元希(入間向陽)⑧西野樹利(大宮南)

※団体上位3校、個人上位5名が本大会出場

●紫灘旗全国高校遠的弓道大会県予選

5月4日(土) 県立武道館

○男子団体／①浦和②秩父農工科学③所沢北④川越初雁 ○女子団体／①市立浦和②星野③所沢北

※男子は2～4位、女子は上位3校と男子浦和、女子草加東(推薦出場)が本大会出場

●第68回関東高等学校弓道大会

6月7日(金)～9日(日) ユウケイ武道館

○男子団体／③東農大三(田口宜知、斎藤健太、島田 陸、鈴木 櫻、其上達也、大垣正仁)

○女子団体／③川越南(長島未侑、田中美羽、京極万穂、山内梨瑚、伊藤暖乃、春 凜香)

○女子個人／③由良優泉菜(草加西)⑧河内來花(坂戸西)

●高校総体県予選

4月28日(日)6月15日(土)17日(月)22日(土)
男子70チーム1,028名女子72チーム1,218名
大宮公園、県立武道館、日高アリーナ、熊谷運動公園

○男子団体／①東農大三(田口宜知、斎藤健太、島田 陸、鈴木 櫻、其上達也、大垣正仁、前田涼翔)②川口北(富澤大智、飯田椋介、永松俐人、矢田陽希、小山航輝、石川翔稀、村田伊吹)③大宮東(児玉浩希、百木敦海、大澤琉空、森川陽太、石堂瑛士、菅澤拓海、古川夢翔)④越ヶ谷(柏倉匠吾、小口 遼、河村琉斗、内村 匠、矢路川優大、吉浦波琉、宇田川翔汰) ○女子団体／①東農大三(芹澤志歩、伊藤瑞姫、小出由理、石塚未悠、新井海結、牧 咲来、原田紗羽)②大宮東(永井心菜、西内瑞羽、須藤栄佳、新井結衣、黒岩叶夢、丸山晴歌、澤野詩葉)③所沢北(岩田みづほ、武田 悠、福島千惺、竹蓋美咲、梶浦美波、村松もね、須貝すみれ)④川越南(長島未侑、田中美羽、京極万穂、山内梨瑚、春 凜香、伊藤暖乃、田南早紀) ○男子個人／①吉田将輝(成徳深谷)②足立遼太(武蔵越生)③嶋田尚輝(川越南)④杉浦暖人(大宮)⑤大垣正仁(東農大三)⑥門傳大惺(所沢北)⑦其上達也(東農大三)⑧寺本 一(浦和西) ○女子個人／①新井海結(東農大三)②長島未侑(川越南)③江泉來柚(大宮光陵)④岩田みづほ(所沢北)⑤須藤栄佳(大宮東)⑥齋藤実樹(与野)⑦小出由理(東農大三)⑧山内菜々子(川口北)

※団体優勝校、個人上位2名が本大会出場

●第69回全国高校総体

8月3日(土)～6日(火) 島原復興アリーナ

○男子団体／③東農大三(田口宜知、斎藤健太、

其上達也、前田涼翔、鈴木 櫻、大垣正仁)

○女子個人／④長島未侑(川越南)

●国民スポーツ大会関東ブロック大会

8月17日(土)18日(日)

小瀬スポーツ公園武道館

○少年男子／関戸琉偉(所沢北)、市川 潤(大宮)其上達也(東農大三)、監督山田尚子(所沢)、コーチ新井大翼(所沢北)、山崎康太(大宮武蔵野(女子も兼任))○少年女子／長島未侑(川越南)、伊藤瑞姫(東農大三)、河内來花(坂戸西)、監督古岡大路(川越南)、コーチ岸口脩司(坂戸西)

少年男子 近的6位 遠的7位 総合7位

少年女子 近的3位 遠的3位 総合2位

※少年女子が本大会出場

●関東個人選抜県予選

7月29日(月)～30日(火)

男子419名、女子419名参加 県立武道館

○男子個人／①大井堯舜(大宮)②其上達也(東農大三)③印野 陽(川越南)④前田涼翔(東農大三)⑤足立遼太(武蔵越生)⑥坂本優真(浦和学院)⑦門傳大惺(所沢北)⑧森川陽太(大宮東)⑨金井陽向(正智深谷)⑩眞崎恵秋(坂戸西)

⑪田口宜知(東農大三)⑫荒瀬加維英(川口市立)

○女子個人／①日高 涼(草加東)②高橋菜月(秋草学園)③大瀧稟琳(大宮光陵)④青山 舞(蓮田松韻)⑤石塚未悠(東農大三)⑥大熊海尋(鳩ヶ谷)⑦石井美紗紀(大宮東)⑧原田愛麻(狭山ヶ丘)⑨荻原千夏(大宮東)⑩新井優菜(大宮南)⑪京極万穂(川越南)⑫新井稟子(深谷第一)

※男女各上位12名が本大会出場

●紫灘旗全国高校遠的弓道大会

8月17日(土)18(日)

久留米アリーナ弓道場

○男子団体／②浦和③秩父農工科学

●第43回関東個人選手権選抜大会

9月14日(土)15日(日)

明治神宮至誠館第二弓道場

○男子個人／②門傳大惺(所沢北)

○女子個人／⑥京極万穂(川越南)⑧日高 涼(草加東)

大会・射会入賞記録

●第 146 回明治神宮奉納遠的弓道大会

令和 6 年 5 月 3 日（金・祝）明治神宮至誠館第二弓道場（遠的）

○初～参段の部：①飯塚雄己（上尾）③長谷川雅一（朝霞）

●第 36 回埼玉県実年者弓道選手権大会兼全国健康福祉大会（ねんりんピック）県連予選会

令和 6 年 5 月 6 日（月）埼玉県立武道館 参加 170 名

○埼玉県実年者弓道選手権大会：①仲田孝雄（上尾）②高橋利夫（川口）③増淵政行（杉戸）④加々美淳一（駒場）⑤原 彌八郎（所沢）

○さいたま市代表選手：①岩崎建次（記念）②古泉利昭（駒場）③加々美淳一（駒場）④飯嶋 功（岩槻）⑤山中茂夫（記念）⑥鷹巣光子（駒場）⑦松田栄子（駒場）監督：廣川哲次（駒場）

○県代表選手：①加藤憲男（三芳）②三田 明（春日部）③原 彌八郎（所沢）④高橋利夫（川口）⑤中村薫（吉川）⑥藤崎智子（熊谷公園）⑦圓子トキ子（春日部）監督：三田 明（春日部）

※上記代表選手は、全国健康福祉大会（ねんりんピック、於：鳥取県）に出場

●埼玉県弓道選手権大会（称号者の部）

令和 6 年 5 月 18 日（土）埼玉県立武道館 参加 129 名

○称号者の部：①堅木由加（川越）②古泉利昭（駒場）③富永剛志（上尾）④片岡一子（大宮）⑤初田美代子（桶川）○全弓連会長盾：平船栄治（志木）

※全日本選手権関東ブロック予選及び関東選抜選手権 2 次選考会へ男子 8 名・女子 7 名を選出

●埼玉県弓道選手権大会（有段者の部）

令和 6 年 5 月 19 日（日）埼玉県立武道館 参加 239 名

○参段以下の部：①初田富士夫（桶川）②野沢 匠（横瀬）③忠 聖人（日高）④前本 泉（駒場）⑤榎本吟子（新座）○四・五段の部：①高野 聖（久喜）②中村徳海（所沢）③千葉秀明（毛呂山）④野沢晴江（ふじみ野）⑤大島和馬（三芳）○全弓連会長盾：高野 聖（久喜）

※関東選抜選手権出場：5 名＋補欠 1 名を選出

※三県選抜弓道選手権大会出場 参段以下：5 名＋補欠 1 名、四・五段の部：5 名＋補欠 1 名を選出

●第 60 回全日本女子弓道大会（東日本の部）

令和 6 年 5 月 26 日（日）栃木県総合運動公園ユウケイ武道館弓道場 参加 643 名

○四段以上の部：②宮森いずみ（吉川）④塩島久恵（久喜）○称号者の部：村上節子（上尾）

●全日本選手権関東ブロック予選及び関東選抜選手権 2 次選考会

令和 6 年 6 月 1 日（日）大宮公園弓道場 参加 1 次予選通過者 15 名

※全日本弓道選手権関東ブロック予選出場 ○男子：①宮崎正範（吉川）②坂井孝嘉（ふじみ野）③平船栄治（志木）④宮内 毅（越谷）○女子：①堅木由加（川越）②清水繁子（岩槻）③須田明江（入間）④市川政子（入間）

※関東選抜選手権出場：5 名＋補欠 1 名を選出 ※三県選抜弓道選手権大会出場：5 名＋補欠 1 名を選出

●第 71 回全日本勤労者弓道選手権大会

令和 6 年 6 月 7 日（金）～9 日（日）プロシードアリーナHIKONE ホンダ埼玉、所沢市役所出場

●第 6 回伊勢「神宮奉納弓道大会」

令和 6 年 7 月 5 日（金）・6 日（土）神宮弓道場 参加 231 名（有段者 176 名、称号者 55 名）

○有段者の部：⑤吉澤幸子（岩槻）

●第 23 回明治神宮崇敬会全国弓道大会

令和 6 年 7 月 7 日（日）明治神宮至誠館第二弓道場 参加 57 チーム、個人 194 名

○団体：①埼玉連 E チーム（長井淳史（熊谷公園）、川口 治（上尾）、宮崎正範（吉川））敢闘賞：埼玉連 J チーム（浅子好夫、小島修治、川合儉司）（全て大宮）○個人 称号の部：②室町純子（志木）④中島幸子（大宮）③大樂真健（記念）四・五段の部：③長井淳史（熊谷公園）特別賞（射道優秀者）：宮崎正範（吉川）

●第 67 回三県選抜弓道大会

令和 6 年 7 月 21 日（日）ALSOK ぐんま武道館弓道場 参加 83 名

○個人戦 有段者：参段以下①深見恵子（所沢）②忠 聖人（日高）四段以上②佐藤陽平（幸手）③フビジエンヘザヤ（記念）称号者：②初田美代子（桶川）特別参加：③本橋民夫（所沢）国スポ選手成年男子：②新里 陵（久喜）

●令和 6 年度全日本弓道選手権大会関東ブロック予選会

令和 6 年 7 月 28 日（日）神奈川県立武道館弓道場 参加 80 名

※全日本選手権代表選出：須田明江（入間）市川政子（入間）

●第36回埼玉県弓道遠的選手権大会

令和6年8月12日(月・祝)埼玉県立武道館 参加156名

○男子四段以下の部:①忠 聖人(日高)②崎原大裕(東松山)③深堀秀治(日高)

○女子四段以下の部:①田辺智子(松伏)②濱井さやか(大宮)③清水ゆかり(朝霞) ○男子五段以上の部:

①青木 豊(行田)②各務勝洋(春日部)③沼倉光広(日高) ○女子五段以上の部:①小林ミワ(上尾)②鈴木多恵子(吉川)③吉澤郷実(啫啄) ○総合優勝:忠 聖人(日高)

※全日本弓道遠的選手権大会(全弓連中央道場)へ出場 ○男子:青木 豊(行田)宮内 毅(越谷)

○女子:吉澤郷実(啫啄)鈴木多恵子(吉川)

●第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会

令和6年8月18日(日)山梨県甲府市小瀬スポーツ公園武道館弓道場

○少年女子チーム、国民スポーツ大会(佐賀県多久市)出場決定

●第65回関東地域弓道選抜選手権大会

令和6年9月8日(日)東日本技術研究所武道館弓道場(水戸)

○個人戦 有段者の部:④新里 陵(久喜)(全日本弓道連盟賞も受賞)

●令和6年度全日本弓道選手権大会

令和6年9月21日(土)~9月23日(月・祝)神宮弓道場 参加 男女各49名

出場選手:須田明江(入間)市川政子(入間)

●第37回埼玉県民総合スポーツ大会

令和6年9月29日(日)熊谷運動公園弓道場 参加116名(39チーム)

○近的団体 有段者:①熊谷A(関口尚人、大嶋道雄、長井敦史)②上尾A(木村鷹士郎、齋藤幾央、川口 治)③さいたま市B(鏑間恵美、川邊秀一、フビジエンヘザヤ) 称号者:①鴻巣B(山下広二、二宮一広、島村保男)②春日部C(柿沼清孝、二見富士夫、脇本 緑)③さいたま市F(加藤早苗、生方美代、武政宏美)

○近的個人 有段者:①大嶋道雄(熊谷市)②松井康久(鶴ヶ島市)③川口 治(上尾市) 称号者:①武政宏美(さいたま市)②高木 渡(狭山市)③山下広二(鴻巣市)

●第78回国民スポーツ大会

令和6年10月5日(土)~8日(火)佐賀県多久市緑が丘弓道場

○少年女子チーム 近的:7位 遠的:6位

長島未侑(川越南)、伊藤瑞姫(東京農大三)、河内來花(坂戸西) 監督:古岡大路(川越南) コーチ:岸口脩司(坂戸西)

●第36回全国健康福祉祭とっとり大会 ねんりんピックはばたけ鳥取2024

令和6年10月19日(土)~22日(火)鳥取県立武道館弓道場

○準優勝 県代表選手:加藤憲男(三芳)、三田 明(春日部)、原 彌八郎(所沢)、高橋利夫(川口)、中村 薫(吉川)、藤崎智子(熊谷公園)、圓子トキ子(春日部) 監督:三田 明(春日部)

○高齢者賞:松田栄子(駒場)、鷹巣光子(駒場)



今年度前半を終えて

支部長 町田 文利

今年の夏は猛暑とゲリラ豪雨が顕著で、またしても大きな災害が発生してしまいました。

35度以上の猛暑日の連続日数は、全国914の観測点のうち211地点で過去最多を更新しました。かつては、「暑さに負けず頑張って稽古しましょう」と土用稽古を行っていましたが、最近では熱中症予防のため運動や外出を避けることが推奨されるようになりました。夏場の稽古の仕方やイベントの在り方もますます工夫が必

要になってくるのでしょうか。

さて、今回は秩父支部顧問の大堅正先生にその長い弓道人生の思い出として、かつて弓界を牽引した偉大な弓人とのエピソードを寄稿していただきました。

忘れ得ぬ思い出

秩父支部顧問 お前の 大堅 正

今年中に米寿を迎えることになり県弓道連盟からお祝いをいただきました。大学に入学して弓道を始めて以来今日まで70年近くも弓道を嗜んできました。振り返ってみるとたいした弓を引いてきた訳でもなく、ただ弓道と人生を共にしてきたこととなります。幸いなことに、昭和58年に秩父農工高校の教諭をしていた故原島栄次先生から弓道場を譲り受け、自分の土地に移設し、それを機に家内の敦子も弓道を嗜む

ことになりました。またその数年後から同じ気持ちの弓友達も集まり現在に至りました。長い年月の間にはたくさんの思い出もありますが、そのなかで忘れ得ぬ二つのことを記してみたいと思います。

第一は若くして亡くなられた故小澤武雄範士の指導の仕方です。私は國學院大學に入学し、当時の石岡久夫先生から弓道を学びました。

在学中に石岡先生から「いま全国で一番充実しているのは、秩父の小澤先生だ」という話を何度か聞きました。その理由を聞くと「会に入ってから伸合い、詰合いが進み充実した瞬間に離れが出て羨ましいほどだ。しかも会の時間は常にほぼ6秒で決まっている」と話をしていました。

私はその後秩父に帰り在学中に所属していた、故近藤友三先生が責任者をしていた秩父弓道会に所属し弓道を継続することになったのです。ただ小澤先生の道場も市内にありましたから、時々射も拝見させていただき、お話もうかがうことはありました。

当時秩父地域にあるいくつかの道場の会員が集い、秩父支部の定例行事である支部カップ戦が年に何回か行われておりました。小澤先生も何回かお見えになり、素晴らしい射を拝見させていただきました。その中で心に残っているのは先生の私に対する指導です。毎回の事ではありませんがときどき私の射を見ていて気になる事があると、「ここがこうなっているけれど、こうしたらどうだろう」と指摘されるのです。私はそれをお聞きし心にとめて稽古したのは勿論のことです。そうして稽古をし2、3か月後の次のカップ戦の時にお会いすると「この前いくつか指摘したけれど稽古をしてみてもうどうだったですか」と話しかけてくれるのでした。私がその感想と結果を話すと、「そうかい良かったね」とねぎらってくれ次の課題をくださることが何回かありました。また友人と先生の道場にお伺いし直接ご指導をいただいたり、ともに稽古をさせていただいたこともありました。

このように指導したことに責任を持って対峙していただいた先生は少なく、忘れ得ぬ指導であり自分でもそうありたいと思っております。

しかしその心の師と仰いでいた先生も昭和43年64歳の若さでお亡くなりになってしまいました。小澤先生の葬儀の時に印象に残ったのは斎藤友治先生の涙ながらの追悼の言葉でした。

忘れ得ぬことの第二は何代か前の全弓連会長であった斎藤友治先生の姿です。斎藤先生は出生が現在の秩父市であり、のちに群馬県の伊香保の地に移り現地の軽石を使い、戦後の復興期

に軽量ブロック生産に力を尽くし、そこで得た財を全弓連につき込み、財政を支えたことは全弓連にとって大きな力となっていたのです。当時斎藤先生の建材会社と家族の方からは「弓道と縁を切ってくれ」と悲痛とも思える言葉が私たちにも聞こえて来たものです。これに対し、斎藤先生は「私の師匠である千葉胤次先生、宇野要三郎先生の助言により伊香保の軽石の山の鉦区権を手に入れ、それによって成した財だから弓連のために使うのだ」と受け入れなかったことを記憶しております。当時先生は伊香保の建材会社のほかに秩父にも重量ブロック生産工場を作り、週に2回か3回伊香保から通って来ておりました。来るときは朝5時半ころに秩父神社境内にあった弓道場に来て、秩父弓道会の人と一緒に7時まで稽古をしてから会社に出勤したのです。その時会員の人によく「一射に全財産を掛ける稽古をしなくては駄目だ」と厳しい言葉を掛けていました。先生は当時早気に悩まされていましたが、会を保つ稽古をしておりました。そんな先生でしたが会員の人が稽古をしている時は、厳しい目と言葉で励ましておりました。

そんな斎藤先生にもいろいろな思い出がありますが、特に忘れられないのは先生の晩年の事です。ご高齢になるとともに、たくさんの榮譽を受けながらも自分では弓も引けなくなり病院への入退院を繰り返すようになりました。最晩年に、先生がある叙勲を受け、その祝賀会が行われ、県内外から多くの方が参会されました。しかし先生は体調もすぐれず入院をしておりましたので、席にお見えになるかどうか参会者の方も心配しておりましたが、開会直前に病院から看護師に付き添われ、主賓席に着席をしました。その姿は高齢と衰弱のため小さくなられ、席に着くと首から上しか見えないほどでした。開会式で、先生はかすれた声で「今日は私のために集まっていたいてありがとうございます」と挨拶をされました。その後参会した上位の先生方から祝射が行われていき、称号者の行射が終わるころから看護師から体が無理だから病院に戻るよう何回も話したようですが「まだ」と席を立とうとしませんでした。祝射はその後も継続をされ、看護師が心配したたびたび戻るように促しましたが受け付けられませんでした。参段の人の祝射が終わった時看護師と周りの人が体がもたないから帰るようにと少し強く勧めました。しかし先生は「私のために来てくれた方を見ないでなぜ帰れるのだ」とやっと出る声で言い返したので皆沈黙をしてしまいました。しかし式段の人の祝射中について姿勢の維持ができなくな

り、病院に搬送されていきました。

いろいろな射会があり私も時々参加しましたが、度々感じるのは上位の人が行射している時は師範席や観客席にはたくさんの方が見ておられますが低段の人が引くときはだんだん見ている人が少なくなってしまう光景をよく見ました。また師範席に残っている方がそこで談笑している姿を見ることもしばしばありましたし、苦々しい思いで見たこともありました。低段の人が、上位の人の射を見て学ぶことは大切なことですが、それ以上に上位の人は多くの人の射を見てあげるといふ事が大切なことと考えております。

<競技・講習会>

●第1回支部カップ戦

令和6年5月12日(日) 秩父市第1弓道場
参加78名

- 中学生 ①加藤悠磨②坂井結菜③黒沢愛織
○高校男子 ①内田光弥②浅香鉄平③伊藤正翔
○高校女子 ①本橋マリア②田口乃愛③黒沢虹未
○一般男子 ①若林武司②野沢 匠③丸山康弘
○一般女子 ①齋藤公子②大野きみ③山科くるみ

●第2回支部カップ戦

令和6年7月14日(日) 秩父市第1弓道場
参加88名

- 中学生 :①黒沢愛織②加藤悠磨③星野朝輝
○高校男子 :①久保 陸②松田丈成③内田光弥
○高校女子 :①川合菜花②今井菜々珠③田口乃愛
○一般男子 :①内田 翼②若林武司③富田昌孝
○一般女子 :①内田藍菜②吉澤和代③町田萌香

●第3回支部カップ戦(近的・遠的選手権)

令和6年8月4日(日) 秩父市第1弓道場
参加26名

近的の部 :○一般男子 ①亀井建司②黒沢 誠
③富田昌孝 ○一般女子 ①内田藍菜②島田志季穂③町田萌香

遠的の部 :①丸山康弘②井上美根子③加藤喜久夫

●秩父郡市高等学校弓道大会(四高戦)

令和6年9月16日(月) 秩父高校弓道場
参加36名

○男子団体 ①秩父農工科学A(石田大和、引間晴哉、松田丈成)②秩父農工科学B(内田光弥、茂木敦也、久保 陸)③秩父農工科学C(浅賀鉄平、守屋颯介)

○女子団体 ①秩父農工科学A(井上亜優、戸田あゆみ、小泉陽加)②秩父農工科学B(黒澤虹未、若林杏菜、本橋マリア)③秩父A(黒田

陽依、飯塚怜奈、今井菜々珠)

○男子個人 ①久保 陸(秩父農工科学)②石田大和(秩父農工科学)③内田光弥(秩父農工科学)

○女子個人 ①井上亜優(秩父農工科学)②山田紗羅(秩父)③今井菜々珠(秩父)

●支部講習会

令和6年9月15日(日) 秩父市第1弓道場
参加22名 講師:岡芹喜行教士

県北支部

支部長 高橋 久雄

飯島千代子範士

「生涯スポーツ功労賞」受賞

支部長 高橋 久雄

深谷市弓道連盟会長の飯島千代子範士が、深谷市スポーツ協会の推薦を受け、国から「生涯スポーツ功労賞」を受賞されました。

県北の身近な先生の受賞であり誠にめでとうございます。ここに飯島千代子先生のお言葉を紹介します。

感 謝

飯島千代子

この度、文部科学省から「生涯スポーツ功労賞」を受賞いたしました。支えてくださっている皆様のお陰と、心より感謝申し上げます。

お陰様で、深谷市スポーツ協会より推薦していただき「生涯スポーツ功労賞」受賞となりました。全国で159人、埼玉県で5人、埼玉県弓道連盟の推薦で古泉利昭先生も受賞されました。

埼玉新聞の片隅に私の名前がありました。それを見たのが、高校時代(60年前)の指導者のお孫さんでした。喜びを伝える手段が分からず総合体育館の受付に手紙を届けてくれました。「略…千代子は芯と心がいいからと言っていた祖父がどんなに喜んでいてことでしょうか！」とあり、お孫さんの心と亡き指導者への感謝とで涙があふれました。

60年も前に弓道をするきっかけを与えてくれた先輩は、深谷市の老舗割烹の大女将をしていて、スポーツ協会や連盟でもお世話になっており、今でも繋がりがあります。

17歳の時は東京オリンピックのデモンストラレーションに出場、50歳過ぎてからは、全日本女子弓



古泉先生と

道選手権に、何回も出場させていただきました。今の私があるのは、高校生時代に基本を染みつかせてくれた恩師、そして子育て中は家族の協力、弓道連盟の諸先輩や弓友達、周りの人たちのおかげと思い感謝しております。

長年かけて真善美を求め、生活そのものが弓道の教えに習っての日常です。後期高齢者になり、尚、心をたおやかにもち、頂いた賞に恥じないよう、これからも弓道人生を歩んでいきたいと思っております。多謝

<競技・講習会>

●支部総会射会

令和6年3月31日(日)熊谷運動公園弓道場
参加 総会49名 射会38名

○個人 称号①衣袋秀雄(寄居)②生見和子(本庄)③青木 豊(行田) 有段①田邊友明(鴻巣)②関口尚人(熊谷)③大嶋道雄(熊谷)

●第1回支部カップ戦

令和6年6月16日(日) 寄居町アタゴ記念館体育館弓道場 参加91名32組

○団体①熊谷D(関口尚人、関口淳子、三澤一夫)

②行田A(島崎崇光、青木麻里奈、青木 豊)

○一部 ①青木 豊(行田)②衣袋秀男(寄居)

③青木麻里奈(行田)

○二部 ①関口尚人(熊谷)②加藤孝一(羽生)

③大嶋道雄(熊谷)

○三部 ①田中秀幸(羽生)②斉藤花怜(寄居)

③松澤尚一(本庄)

●第2回支部カップ戦 兼 県スポ大会出場チーム選考会

令和6年8月18日(日) 深谷市総合体育館弓道場 参加89名 30組

○団体 ①羽生B(田中秀幸、鈴木洋晃、加藤孝一)②深谷E(香川 勉、木部健司、西岡謙市朗)

○一部 ①西岡謙市朗(深谷)②島村保男(熊谷)③山下広二(鴻巣)

○二部 ①佐藤敏勝(本庄)②加藤孝一(羽生)③奈良久美子(鴻巣)

○三部 ①坂本龍彌(深谷)②小幡正男(武道館)③松澤尚一(本庄)

○県スポ大会出場チーム

有段者 熊谷A(関口尚人、大嶋道雄、長井敦史)、本庄(佐藤敏勝、ツグメドムンクトゥル、松澤尚一)、鴻巣A(堀江匡明、荻原重弘、奈良久美子) 称号者 熊谷C(荘子宏幸、島崎崇光、茂木昭夫)、鴻巣B(山下広二、二宮一広、島村保男)

●第1回支部講習会

○参段/四段 4月21日(日) 熊谷運動公園弓道場 参加13名 講師:島村保男教士

○初段~四段 4月24日(水) 深谷市総合体育館弓道場 参加30名 講師:岡芹喜行教士

○初段/三段 4月28日(水) 行田市総合公園弓道場 参加15名 講師:茂木昭夫教士

●第2回支部講習会

○初段/三段 7月21日(日) 本庄市若泉運動公園弓道場 参加9名

講師:飯島千代子範士

○初段~四段 7月24日(水) 行田市総合公園弓道場 参加17名 講師:岡芹喜行教士

○参段/四段 7月28日(日) 熊谷運動公園弓道場 参加22名 講師:飯島千代子範士

●第116回県北支部高等学校弓道大会

令和6年8月20日(火)熊谷運動公園弓道場
参加 男子93名、女子140名 校数15校

男子優秀校 正智深谷

女子優秀校 正智深谷

個人 男子①山内墨希②金子四季③赤沼満太郎

女子①蔵内一葉②黒澤琴音③金谷笑幸



画・松本 正

東 部 支 部

支部長 二見富士夫

支部活動の周知のために

広報担当 小山 徹

東部支部の総務として支部だよりの取りまとめ、競技結果のお手伝いなどを始めて約10年の歳月が経過しました。この間には支部長の交代（小林次雄先生、北原きい子先生、二見富士夫先生）やコロナ禍の影響により、支部行事が出来ない期間もありました。その際には支部だよりの通じて、各連盟の現状や課題を2号にわたりお届けし、連盟ごとに工夫して取り組まれていることを紹介できて嬉しく思いました。

今ではコロナ禍以前と変わらぬ業務を継続しておりますが、県HPに掲載していただいている競技結果については、人目につくため「ぱっと見て分かりやすい」ように、結果と競技風景にページを分け、写真を多くし会員の活躍を記録することに注力しています。

県HPでも東部支部の競技結果を見ることは出来ますが、二次元バーコードを用いることで東部支部の競技結果や活動に素早くアクセスすることができます。今後の支部活動や競技結果をより多くの方に知っていただければ幸いです。

東部支部の競技結果報告の例はこちら



<競技・講習会>

●第8回東部支部遠的選手権大会

令和6年6月1日（土） 県立武道館弓道場
参加54名 ①柿沼清孝（春日部）②高野 聖（久喜） ③川口 治（上尾）

●東部支部選手権大会（近的の部）兼県民総合スポーツ大会予選会

令和6年7月6日（土） 県立武道館弓道場
参加80名 ①三田 明（春日部）②高橋宗次郎（春日部） ③松林華子（北本）

県民総合スポーツ大会出場選手を称号者の部と有段者の部で各3チーム（3人立）を選出

●県南・東部支部高校生弓道大会

令和6年8月24日（土） 大宮公園弓道場
参加 男子221名 女子272名計493名

○男子団体 ③春日部A ○女子団体 ①春日部東A③久喜北陽B③伊奈学園総合C ○男子個人 ①井上 優（春日部）①高木富由樹（桶川） ○女子個人 ①高橋莉奈（春日部東）
○技能優秀賞男子個人 井上 優（春日部）、高木富由樹（桶川） ○技能優秀賞女子個人 高橋莉奈（春日部東）、加賀谷在美（伊奈学園総合）、大里羽凜（久喜）

●東部支部道場対抗戦兼県武道大会一次予選

令和6年9月15日（日） 大宮公園弓道場
参加113名

○道場対抗戦 ①久喜②幸手③春日部

○団体戦 ①幸手C②春日部A③春日部D

○個人優勝 三田 明（春日部）

個人の部で羽分け以上の31名は最終予選会への出場参加資格を取得

●第1回講習会（一般の部）

令和6年4月13日（土） 県立武道館弓道場
参加34名 講師：綾戸岩雄、村上節子、富永剛志 各教士、高橋かおる 各錬士 内容：矢渡・介添講評、一手行射、射技指導、仕上げ行射

●第2回講習会（一般の部）

令和6年6月9日（日） 県立武道館弓道場
参加 午前26名 午後44名
講師：北原きい子、村上節子 各教士 二見富士夫、大槻良雄 各錬士 内容：一手行射、射技指導、射法・射技の基本について

●第3回講習会（高校生の部）

令和6年8月1日（木） 大宮公園弓道場
参加 午前55名 午後52名
講師：村上広子教士、細野隆志、二見富士夫、高橋かおる、新井 満、大槻良雄 各錬士
内容：審査方式・体配、射技指導

●第4回講習会（一般の部）

令和6年9月7日（土） 大宮公園弓道場
参加41名 講師：大上直美、村上広子、仲田孝雄 各教士、新井 満 各錬士
内容：一手行射、射技指導、仕上げ行射

県南支部

支部長 鹿野 信恵

私の弓の楽しみ方

松伏弓道連盟 藤田 領

私は、コロナ前に妻と を始め、丸6年が経ちました、弓を引くという基本の楽しみ、中った時の喜び、仲間とのひと時。人それぞれの色々な楽しみ方があり、年齢、性別関係なく楽しみ、修練できる武道だと始めてみて感じました。

私が特に楽しみにしているのは、「道場で過ごす時間」です。私の通う道場は、先生のご自宅の庭にある二人立ちの道場。風情のある庭と一体化しており、四季折々いろいろな顔を見せてくれます。

春には桜が咲き、竹林の隙間から筈も顔を出し、夏は、木々が青々と力強く伸びて、バーベキュー、流しそうめん、すいか割りと、高校生も交えて交流会。秋には、木の葉が綺麗に紅く染まる中、道場の仲間での懇親旅行。なんと言っても、冬の道場の雪景色は最高で、普段、射場から見た矢道や的のついた安土の景色は当たり前風景が、雪が降った日の道場は幻想的な世界に。和を感じる風情のある庭に雪が積もり、真っ白な矢道を抜けた先にある的、それを雪から優しく守る安土屋根…。弓を引くのも忘れ、見とれてしまうほどです。そんな中、ストーブで暖を取りながらの先生や仲間との弓談義。季節それぞれ楽しみがあり、弓を引く事以外にも楽しみが沢山あります。

私は、仕事もして中々道場に行けていないですが、それでも時間を作り自分の射形、癖、悩みや喜び、色々な思いで弓を引き、練習の糧に楽しんでいます。こうして弓道が続けていけるのは、先生や道場の仲間、連盟の方々、沢山の方々が、私達を受け入れてくれ、弓道を愛し弓道をこれからも普及させようと努力を続けているからに他なりません。始めたばかりで難しさに悩み、向いてないのかも？と考えている人がいるならば、一度、肩の力を抜き、周りの景色に目を向けて、弓道を楽しめば良いのではないかと思います。

弓道は、年を重ねても楽しめる武道。私は、これからも弓道の奥深さを楽しみ、修練して行きたいと思います。

<競技・講習会>

●令和6年度 県南支部 優勝杯戦

令和6年4月14日(日) 県立武道館弓道場
参加97名

○近的の部 団体 ①越谷A(落合正規、小関一哉、鹿野信恵)②松伏A(田辺智子、篠崎美緒、藤井健人)③越谷F(福嶋 實、黒須昭宏、中村尚美)

個人戦 ①坂本 恵(川口)②中村 薫(吉川)③加藤徹也(川口)

○遠的の部 個人 ①藤井健人(松伏)②中村尚美(越谷)③鈴木多恵子(吉川)

●令和6年度 県南支部 選手権大会

令和6年6月2日(日) 大宮公園弓道場
参加117名

個人 ①宮内 毅(越谷)②桑本眞美(越谷)③松永江里(戸田)

●令和6年度 第1回講習会 参・四段の部

令和6年5月3日(金・祝) 大宮公園弓道場
参加33名

講師：谷口保雄、鈴木多恵子 各教士

●令和6年度 第1回講習会 二段以下の部

令和6年5月4日(土・祝) 大宮公園弓道場
参加57名 講師：加藤睦正、高橋なみえ 各教士、中村尚美錬士

●令和6年度 第2回講習会 二段以下の部

令和6年9月14日(土) 大宮公園弓道場
参加42名 講師：森 正一教士、二宮三千子、五十川実千恵 各錬士

●令和6年度 高校生講習会

令和6年8月9日(金) 大宮公園弓道場
参加29名 講師：鈴木多恵子、有ヶ谷将人 各教士、福島佳子、郡司 勉 各錬士

令和6年8月10日(土) 大宮公園弓道場
参加51名 講師：木本将史教士、衛藤由美子、五十川英俊、星野里美、沼沢睦美、大野宏之 各錬士

※講習内容は各段位に応じて体配・射技指導等を実施

●県南東部高校生大会

令和6年8月24日(土) 大宮公園弓道場
審判員協力：宮内 毅教士、佐々木睦美錬士

県 央 支 部

支部長 荒井 渉

大宮弓武会の活動

大宮弓武会 三池 和博

県央支部・大宮弓武会は、さいたま市の中で旧大宮市のエリアに位置しており、大宮武道館で弓道活動を行っています。

大宮武道館は平成3年に開館し、主道場、弓道場、剣道場、及び柔道場を備えており、他に居合道、空手道など様々な武道が行われています。主道場では武道に限らず、バドミントン、卓球、新体操なども行われており、総合体育館としても機能を有しています。

弓道場は6人立です。大宮弓武会の弓道活動と共に、県央支部の弓道講習会や、弓道審査会の会場としても使用されています。

大宮弓武会は現在、4名の教士七段の先生方以下、会員数210名の大所帯です。そのため4つの弓道会に分かれて活動を行っています。切磋琢磨の稽古、月例射会、納射会、初射会、教士の先生による講習会、及び外部の先生をお招きしての弓道講習会等を開催しています。

さて、大宮には、関東武蔵国の守護神である「武蔵一の宮・大宮氷川神社」が鎮座しています。大宮氷川神社は、関東全ての氷川神社の総本社であり、年間を通して様々な祭事が行われています。弓は古(いにしえ)の昔から神事に用いられてきました。ここで、弓とゆかりの氷川神社の神事についてご紹介を致します。

氷川神社の舞殿では、2月2日節分の豆まきの前に、弓の弦が弾ける音によって厄払いを行う「鳴弦の儀」が行われます。2月7日には裏面に「鬼」の字が書かれた大的を射抜いて厄を払う「的の神事(いくわのしんじ)」が行われます。これらの神事は神官と共に大宮弓武会が、代々その役割を担っております。

4月5日には、鎮花祭(無病息災、五穀豊穡の祭事)の行事として、氷川神社の境内において「花鎮め(はなしづめ)奉納弓道大会」が行われます。弓道大会は、氷川神社と大宮弓武会との共同で開催運営する恒例の行事です。

奉納弓道大会には埼玉県全域から、高校生、一般の方、合わせて500名を超える大勢の方が参加され、参加者は大宮氷川神社の境内で弓を引くことを楽しみにされています。

皆様の、花鎮め奉納弓道大会へのご参加を、心よりお待ちしております。

大宮弓武会では、大宮武道館での弓道活動と共に、大宮氷川神社の祭事に崇敬の心を持って参加し弓道活動を行っております。



大宮氷川神社の境内における花鎮め奉納弓道大会

<競技・講習会>

●県民総合スポーツ大会選手候補者選考会

令和6年6月8日(土) 大宮公園弓道場
参加50名

●武道大会選手候補者選考会

令和6年7月20日(土) 大宮公園弓道場
参加64名

●県民総合スポーツ大会選手候補者選考会

令和6年8月10日(土) 県立武道館弓道場
参加67名

●夏季高校生・中学生大会

令和6年8月21日(水) 大宮公園弓道場
参加525名

○団体男子 ①浦和A(横山、今井、石井)②大宮東C(児玉、大澤、石堂)③大宮A(大井、三井、古川)

○団体女子 ①大宮東A(黒岩、荻原、白土)②浦和東A(木瀬、逆井、新澤)③大宮南A(新井、清水、福島)

○個人男子 ①古川涼太(大宮)②坂本優真(浦和学院)③今井徹晴(浦和)

○個人女子 ①黒岩叶夢(大宮東)②福島めい(大宮南)③古澤 琉(大宮東)

○中学生個人の部 ①宮前 結(市立浦和)②井上咲花(市立浦和)③岡本紗季(市立浦和)

●県民総合スポーツ大会選手候補者最終選考会及び武道大会選手候補者選考会

令和6年8月25日(日) 大宮公園弓道場
参加85名 18名の選手を選出

さいたま市A(小日向勝美、仁木弘之、松平健児)さいたま市B(鏑間恵美、川邊秀一、フビジエンヘザヤ)さいたま市C(今泉雄仁、浅野正俊、森山 剛)、さいたま市D(中村光広、石川芳男、飯嶋 功)さいたま市E(岩崎建次、中島久明、室町純子)さいたま市F(加藤早苗、生方美代、武政宏美)

●参段以下講習会

令和6年4月13日(土) 大宮公園弓道場
参加51名 講師:岡田義助、松澤かおり、片岡一子、飯島 功 各教士 講習内容:一手行射、各講師による講話及び質疑応答、射技指導

●四段講習会

令和6年4月14日(日) 大宮武道館弓道場
参加35名 講師:廣松 弘、竹内せき子、蓮見文子、馬目幾世 各教士 講習内容:一手行射、礼記射技の先導の指導、肌脱ぎ・櫛さばきの指導、講話、射技指導

●称号者(教士)講習会

令和6年4月29日(月) 大宮武道館弓道場
参加18名 講師:石川武夫、浅野有三 各範士 講習内容:一手行射、個別講評、射技講話、一つの、射技指導

●称号者(錬士六段)講習会

令和6年6月2日(日) 県立武道館弓道場
参加21名 講師:柴田 猛範士、松澤かおり 教士 講習内容:一手行射、全体の講評、動画を見ながら個別講評、柴田範士による矢渡ならびに模範射技、射技指導

●称号者(錬士五段)講習会

令和6年7月7日(日) 県立武道館弓道場
参加17名 講師:飯島正大、浅野有三 各範士、松澤かおり教士 講習内容:一手行射、個人講評、個別課題確認、飯島範士による模範射技、射技指導、一手行射

●四段以下講習会

令和6年9月8日(日) 大宮公園弓道場
参加68名 講師:廣松 弘、松澤かおり、山崎孝美、北原理絵 各教士 講習内容:一手行射、射技指導解説、射技指導

西部支部

支部長 池谷 茂

コロナ明けの支部事業

支部競技委員長 坂井 孝嘉

昨年5月にコロナウイルス感染症が5類になり、3年に亘るコロナ禍で中止や人数制限をしていた事業が再開し、徐々にコロナ前の運用に戻ってきました。西部支部の競技についても、昨年度まで中止としておりました中部・西部支部親善射会が再開となり、ようやく全ての支部射会が制限なく行えるようになりました。

いずれの射会も、参加人数も多く、にぎやかな雰囲気の中で、選手の皆さんもとても楽しそうに参加されています。コロナ明け早々の射会ではぎこちなかった運営も、徐々にコロナ前のようにスムーズさを取り戻してきました。

まだまだコロナ以前の参加人数には及びませんが、少しずつ以前のような活気を取り戻していくことを心より願っています。

<競技・講習会>

●読売新聞さいたま支局杯争奪弓道大会・寿射会・県スポ予選会

令和6年6月23日(日) 所沢市民武道館
参加159名 団体54チーム(うち県スポ予選43チーム)

○読売杯 ①篠原妃誉(ふじみ野)②小泉恭子(所沢)③三好啓子(所沢)④佐藤めぐみ(朝霞)⑤下田 徹(所沢)

○寿射会 寿A ①三好啓子(所沢)②簡野肇平(新座)③加藤憲男(三芳)④花房実美(朝霞)⑤出下晃一郎(朝霞) 寿B ①下田 徹(所沢)②関口二郎(所沢)③小山和枝(所沢)④原 彌八郎(所沢)⑤坂川隆人(所沢)

○県スポ大会予選通過チーム 有段者の部:所沢F(小泉恭子、橋本夕夏、塩津喜崇) 所沢D(安江仁美、湯浅紀美子、中村徳海) 所沢C(関口二郎、原 彌八郎、坂川隆人) 称号者の部:所沢J(目黒千恵子、小山和枝、目黒靖彦) 所沢K(三好啓子、中村康代、下田 徹) 所沢M(石川淳子、増田裕子、平山夏子)

●県遠的選手権支部選考会

令和6年6月29日(土) ふじみ野市立スポーツセンター(遠的場) 当日参加39名

当日不参加者を含めた以下の候補者を選出

○五段以上の部 男子11名、女子12名

○四段以下の部 男子10名、女子9名

●中部・西部支部親善射会

令和6年7月7日(日) 日高アリーナ
西部参加81名

②小田倉航太郎(朝霞)③田村純子(志木)④吉野敦史(朝霞)

●支部選手権大会兼県武道大会選手選考会

令和6年8月11日(日) 所沢市民武道館
参加140名(団体40チーム120名、個人4名、中学生16名)

○支部選手権 団体戦 ①所沢L(中村徳海、脇 瑛富、飯尾 弘)②所沢C(三好啓子、原彌八郎、藤田 良)③新座C(板橋武子、内野里子、松高桂子)③和光B(濱松晶彦、安高由紀子、箸蔵晴彦) 個人戦:①仲野裕昭(所沢)②藤田良(所沢)③下田 徹(所沢)④中村康代(所沢)

⑤長谷川雅一（朝霞）

○県武道大会出場選手◇男子：仲野裕昭（所沢）、藤田 良（所沢）、下田 徹（所沢）、長谷川雅一（朝霞）、濱松晶彦（和光）◇女子：中村康代（所沢）、佐藤めぐみ（朝霞）、松高桂子（新座）、清住洋恵（所沢）、北濱すみえ（新座）◇中学生：吉田一晴、本田紗慧、秋田桂吾、山浦笛瑚、土屋瑠璃羽、塩野英子、高原かの、古川智希、高橋蓮妃、瀧上來未

●第1回講習会

令和6年4月21日（日）式段まで

朝霞市内間木公園弓道場 参加39名

講師：市川政子、平塚雄一 各教士

令和6年4月21日（日）参段/四段

三芳町弓道場 参加36名

講師：岡芹喜行、平山夏子 各教士

●第2回講習会

令和6年6月2日（日）式段まで

ふじみ野市立スポーツセンター弓道場

参加39名

講師：岡田義助、出下晃一郎 各教士

令和6年6月2日（日）参/四段

所沢市民武道館弓道場

参加28名

講師：本橋民夫、北濱すみえ 各教士

●高校生春期講習会

令和6年8月1日（木）

所沢市民武道館弓道場

参加 午前17名（午前で終了）

講師：池谷 茂、増田裕子 各教士

中 部 支 部

支部長 寶田 常則

我が道場 飯能弓道連盟

飯能弓道連盟副会長 本橋 薫

飯能弓道連盟は、昭和59年に創立、本年40周年を迎えた。

当初飯能高等学校教諭の松崎直則先生（教士六段）が中心となり、飯能高校弓道部OBの協力を得て立ち上げられた。

翌年第一回弓道教室が開催された。ほぼ全員が未経験者で道場も弓具も無く、飯能高校の道場と弓具をお借りして、生徒が帰った後の午後7時～9時まで週2回の教室だった。

松崎先生と飯能高校弓道部OBの方に指導頂き、皆真剣に一生懸命取り組んでいたように思う。以後弓道教室を毎年開催し弓道の普及に努めている。

数年後市民体育館の建設が計画され、その中に弓道場を併設していただけることになり、飯能高校弓道場での仮住まいは解消し昼夜利用が可能となった。長年利用させていただいた飯能高校に感謝したい。

平成元年の道場開きは多くの関係者にご出席いただき盛大に開催された。

平成17年に飯能市に編入合併された旧名栗村の弓道について触れたい。

この地は飯能市街から20Kmほど西に位置し、昔から弓道の盛んな地として知られていた。

「名栗村体育史」によると、明治・大正時代から一部の人々で弓道が盛んに行われていて、昭和に入って神社の境内・お寺・学校・役場などに簡単な施設ができ、全村域に普及した。更

に昭和31年に本格的な道場「守静堂道場」を町田真之亮氏が自宅に建てられ一般に開放された。秩父から小澤範士八段、東京から小沼範士八段、阿波研造氏の高弟安沢平次郎範士十段を招請しご指導を賜った。安沢範士は数年にわたって夏に見えられ、町田宅に逗留され執筆のかたわら指導にあたられた。

この道場で稽古を積んだ選手たちは国体や県体郡体等多くの大会で活躍した。この中には松崎直則先生の名もあり、飯能弓道連盟とのつながりを感じ興味深い。

しかし、名栗村の基幹産業の林業の衰退が原因なのか、社会構造の変化に伴い弓道を志す人が減少し、守静堂道場も閉鎖となってしまった。

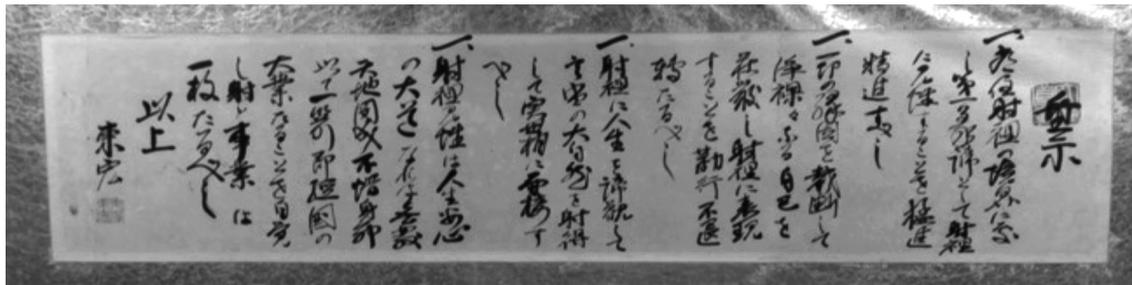
飯能には個人の道場もあった。敷地内にあった御社（おやしろ）の社務所として建てられた3人立の立派な道場だった（昭和63年頃）。奥には茶室があり弓道と茶道の稽古が出来た。近隣の先生方が指導にお見えになっていたようであった。残念なことに道路整備に伴い、安土に高架が架かり現在は道場としては使用されていない。

飯能市民体育館弓道場周辺は開発が進み、東側の入間川河川敷はサッカー場、野球場、児童公園が整備され、南側は照明付き野球場、西側はトーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園、北側は飯能市が力を入れているホッケー場、更に後方の丘には駿河台大学のキャンパスがある。このように周辺は飯能市のスポーツ中心地となっている。

飯能弓道連盟は現在会員約50名の所帯で、道場も3人立の小さな道場である。稽古日は毎週水・金曜日の午後7時～9時まで、土曜日は午前10時～12時までで、特に金曜日は初心者の方の指導に充てており、稽古は正射・正中を目標に射技及び体配の修練を重ねている。稽古の成果

の確認の場として毎月月例射会を開催し、また7月夏季大会、10月市民体育祭、12月納射会、1月初射会を開催している。不定期ではあるが、近隣の先生方にご指導をお願いし、正射を求め日々稽古に励んでいる。

道場には先に触れた旧名栗村の「守静堂道場」の安沢範士揮毫の「垂示」の額が掲げられている。守静堂道場解体に伴いご家族より飯能弓道連盟に寄贈されたもので、弓道修行の厳しい教えが記されている。我々も先人の教えを受け継ぐべく、心新たに精進していきます。



HP掲載誌面
末尾に読み下し
文があります

<競技・講習会>

●県民総合スポーツ大会中部支部予選会

令和6年6月2日(日) 日高アリーナ
参加 72名

○有段者 ①日高(井上、忠、瀬川)②狭山(加藤、佐藤、大石)③鶴ヶ島(松井、佐藤、杉浦)
○称号者 ①鶴ヶ島(田中、小松、川手)②日高(井上、三浦、清水)③狭山(宮崎、長澤、芦)
※鶴ヶ島の2チーム以外は選手再編成して県大会に出場

●西部地区高校弓道選手権大会(3年生大会)

令和6年6月23日(日) 日高アリーナ
参加 男子119名 女子176名

○団体男子 ①東農大三A(斉藤、田口、落合)
②武蔵越生A(足立、新江、石上)
○団体女子 ①東農大三A(芦澤、小出、新井)
②坂戸西A(澤崎、岡部、河内)③山村学園B(原田、藤城、井上)
○個人男子 ①足立(武蔵越生)②小松(坂戸西)
③荒井(川越初雁)
○個人女子 ①藤城(山村学園)②澤崎(坂戸西)
③佐藤(西武文理)

●中部西部親善射会

令和6年7月7日(日) 日高アリーナ
参加 202名

①國分(中:日高)②小田倉(西:朝霞)
②田村(西:志木)④吉野(西:朝霞)
⑤高木(中:小川)

●中部支部選手権大会兼讀賣新聞さいたま支局長杯兼県武道大会選手選考会

令和6年8月4日(日) 日高アリーナ
参加 131名

団体 ①川越Z(榎本、小川、濱里)②日高C(井上、佐藤、沼倉)③入間C(中北、前田、風間)
個人 ①佐藤(日高)②濱里(川越)③大貫(川越)

●埼玉県武道大会中部・西部予選高校生大会

令和6年8月21日(水) 日高アリーナ
参加 男子189名 女子265名

団体男子 ①川越南E(宮崎、町田、印野)
②坂戸西B(小林、安原、吉永)③東農大三A(島

田、前田、鈴木)

団体女子 ①星野J(齋藤、吉田、橋本)②東農大三A(伊藤、石塚、新井)③滑川総合A(高橋、川畑、高田)
個人男子 ①小林(坂戸西)②眞崎(坂戸西)
③印野(川越南)
個人女子 ①竹内(狭山ヶ丘)②佐藤(狭山ヶ丘)
③越阪部(星野)

●第1回支部講習会(参段以下)

令和6年4月21日(日) 日高アリーナ
参加 54名

講師:廣松 弘、須田明江、寶田常則、吉澤郷実
各教士

●第1回支部講習会(参・四段)

令和6年4月27日(土) 日高アリーナ
参加 27名

講師:岡芹喜行、市川政子 各教士

●第1回支部遠的研修会(参段以上)

令和6年6月9日(日) 県立武道館
参加 28名

講師:須田明江、吉澤郷実 各教士

●第2回支部遠的研修会(参段以上)

令和6年7月20日(土) 県立武道館
参加 20名

講師:須田明江教士、井上昇午錬士

●第2回支部講習会(四段以下)

令和6年7月28日(日) 川越武道館弓道場
参加 42名

講師:千葉 公、坂東 文 各教士

●第3回支部講習会(四段以下)

令和6年8月25日(日) 日高アリーナ
参加 28名

講師:那須允良、井上 薫 各教士、田村秀樹錬士

特別寄稿

法人化のこれまでとこれから その1 —弓道文化の創造と継承を目指して—

専務理事 平野 博幸

埼玉県弓道連盟は2023（令和5）年4月に一般社団法人としての登記を行い、新しい一歩を踏み出しました。この間の経緯と現状をご報告し、今後の課題等についても改めて考えてみたいと思います。

法人化以前の状況

—スポーツに対する関心の高まり—

近年、従来のプロスポーツや人気のあるスポーツだけでなくアーバンスポーツの登場に象徴されるように様々なスポーツが注目されるようになり、その結果、以前であれば注目されなかったスポーツ団体の動向にも関心が寄せられるようになってきました。一方ではスポーツに関する不祥事がたびたび報道され、その都度、スポーツ競技団体のガバナンス（組織統治）、コンプライアンス（法令順守）が問われてきました。

そうした背景のもとで、スポーツ競技団体の中央組織についてはガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底も含めて公益財団法人化が求められ、全日本弓道連盟も公益財団法人となりました。こうした状況を見れば、地方組織についても遠くない将来に法人化を含めて同様の対応が求められてくるであろうことは予想できました。しかし、法人化については規程の整備や体制の再構築など様々な課題を乗り越える必要があります。具体化されるのはまだ少し先であろうとも考えていました。実際に、埼玉県内のスポーツ協会に加盟している47団体のうち法人化されている競技団体は4分の1以下です。また本連盟としても法人化を考える前に行わなければならない緊急の課題を抱えていました。

弓道連盟はさまざまな経験や考えをお持ちの方々「弓を引く」という一点でまとまってきている団体です。したがって、組織の運営に関する考え方や道徳観・倫理観などでの違いがあるのはもちろんのこと、時にはあってはならないハラスメントなどの行為が起こることもあります。しかし、スポーツに対する社会の関心の高まりがみられる中でのコンプライアンス違

反の行為は従来に増して許されるものではなく、この問題への対応はどのスポーツ団体にも共通の課題になってきていました。本連盟でもこうしたコンプライアンスの徹底が喫緊の課題として認識され、2020（令和2）年5月に倫理規程・懲戒規程・同施行細則を、翌2021（令和3）年5月にはコンプライアンス委員会規程を定め、理事会・倫理委員会・コンプライアンス委員会の役割と権能を明示しました。また、本連盟主催のコンプライアンス研修会も計画しました（コロナ禍で実施は2023年度）。こうして、喫緊の課題と認識していたコンプライアンスについての対応は形の上では出来上がることになりました。

税務申告に関わっての作業の中で

2022（令和4）年1月の本連盟の「令和3年度第3回理事会」で会長から「地方審査会に関する収入等に対する消費税の支払いの必要性を全弓連から指摘されている」との報告があり、ワーキングチームを設けて検討を始めることの決定が行われました。2022（令和4）年2月の「令和3年度第4回理事会」ではワーキングチームメンバーが決定され、年度がかわった2022（令和4）年4月には埼玉県スポーツ協会事務局長に今後の進め方等についてのアドバイスをいただく機会を作ってください、本連盟として税務申告の問題に実際に取り組み始めることになりました。この段階での課題は税務申告と納税であり、本連盟会員でもある税理士に税務相談を行いながら2022（令和4）年度中に税務申告を行うことの準備に入りました。この作業の中で、課題となったのは今後の本連盟の会計処理を複式簿記の方式で行わなければならないということでした。これはある程度の専門知識を持った方でないといえませんが、そのための体制を作る必要がありました。2023（令和5）年1月には各専門委員会の会計責任者等を対象とした説明会も実施し、税務申告と2023（令和5）年度からの会計処理の変更は予定通りに行うことになりました。

一方で、こうした作業を行う中で、税理士から本連盟でも今後、法人化が必要になってくるとの指摘を受けることになりました。

法人化の準備

2022（令和4）年春の段階では最優先課題は税務申告でありましたが、税理士からの指摘も

あったことから、2022(令和4)年5月14日の「令和4年度第1回理事会」で2024(令和6)年4月をめどに一般社団法人に移行する準備を行うことを決定し、一定の準備を行った後にワーキングチームを立ち上げることにしました。すでに倫理規程等の制定は終わっており、法人化を進めるうえでの大きな課題は定款の制定、評議員会での議決、会計処理の問題(複式簿記の形で会計処理)でしたが、会計処理の問題については税務申告への対応がそのまま法人化へ移行する際の課題と重なることになっていました。2022(令和4)年8月、県スポーツ協会からの紹介をいただき、一般社団法人埼玉県バスケットボール協会に法人化についてのお話を伺うことができました(バスケットボール協会は2016(平成28)年に一般社団法人に移行)。お話を伺った結果、定款の作成はそれほど難しくなく、現在の会則をベースに全日本弓道連盟やバスケットボール協会の定款などを参考に作成することができることが分かり、税理士から紹介された司法書士にも相談しながら作成することとしました。その際、税務申告が予定通り行われることと、翌年の会計処理についての作業も順調に進んでいたことから、役員間の協議で法人化の時期を2023(令和5)年4月に1年前倒しし、定款作成と評議員会開催の準備を行う方向で理事会に諮ることとしました。

2022(令和4)年11月12日の「令和4年度第2回理事会」で2023(令和5)年4月に一般社団法人に移行すること、そのためのワーキングチームを立ち上げること、年度内に臨時の評議員会を開催し一般社団法人への移行について議決をいただくことを決定しました。

定款は理事長が原案を作成し、ワーキングチーム及び臨時の常任理事会(ZOOM開催)で検討し、司法書士の意見もいただきながら(司法書士から依頼された公証人の意見もいただきました)作成しました。その際、「公益性の記述」「代議員会・理事会等の権能」「代議員・理事・役員の数・選任方法」すでにある「倫理規程等との関係」が重要なポイントになりましたが、基本的には現在の会則の精神と組織運営方法を踏襲する形での制定を目指しました。なお、ポイントの一つになった代議員と理事の人数は、代議員会・理事会を幅広い会員の意見を集約する場としても位置付けるため役員に一部学識経験者を加えながらも現状通りの人数としました。

法人登記

2023(令和5)年1月14日の「令和4年度第3回理事会」及び2023(令和5)年2月25日の「令和4年度第4回理事会」で定款案が議決され、あわせて書面議決による臨時評議員会の開催も決まりました。ただちに臨時評議員会の準備が行われ2023(令和5)年3月10日には書面議決の結果が集約されて、定款の制定と一般社団法人への移行が認められました。

2023(令和5)年4月に埼玉県弓道連盟は一般社団法人として登記を行いました。第1回定時代議員会は2023(令和5)年5月27日に開催され、諸議案が承認されるとともに新理事が選任されました。代議員会終了直後には第1回理事会が開催され、新役員が選任されました。従来の任意団体とは別の新しい組織がスタートしたということではありますが、従来の諸規程は引き続き使用され、役員の定年制も任意団体の時期を含めて考えるということになりました。

法人には公告という義務があります。具体的には事業計画・予算・決算等の公開ということです。本連盟ではホームページで定款、役員名簿、事業計画、予算、決算に加えてガバナンスコードについての自己説明、倫理規程・懲戒規程を公開しています。ガバナンスコードについての自己説明は2023(令和5)年度の状況について理事会での確認を経て2024(令和6)年3月に公開しました。

註) ガバナンスコード

団体の組織・運営等についてガイドラインとして参照すべき原則・指針を示したものです。これへの説明を公表することによりその組織が透明性を保ち適切に組織統治を行っているかが外部からでも分かるようになります。

次号では法人化移行にともなって見えてきた本連盟の現状と課題について考えてみます。

編集後記 74号

財政的に余裕があった時期が終わり、埼玉県弓道連盟では活動内容を抜本的に見直し、費用を抑制することの必要性が唱えられています。

「埼弓連だより」でも、発行部数の削減、誌面の合理化、提供手段の改善などの課題を検討中です。前例踏襲では立ち行かない局面であることをヒシヒシと感じております。

編集長 二見富士夫

P18-1 安沢範士揮毫の「垂示」の読下し文

